

# 社会学 〈 P 3 〉

## 教員名

教養・医学教育大講座 医療社会科学  
准教授 本郷 正武

## I 一般学習目標

「社会学 sociology」はどのような概念や理論によって「社会」をとらえてきたのか。その方法論を「4つの伝統」に照らして紹介した上で、現代医療をとりまく社会的背景とその文脈の捉え方について紹介する。

## II 個別学習目標

下記のような「社会の謎解き」の方法論と先行研究、具体的事例を学んで欲しい。

- ・現代社会で「あたりまえ」とされていることをいったん「疑う」
- ・「あたりまえ」となるまでのプロセスについて見る目を養う
- ・国家／階級／階層／秩序などのマクロな社会理論で使用する概念を理解できる
- ・相互行為／役割／逸脱などのミクロな社会理論で使用する概念を理解できる
- ・社会的ジレンマの生起とその解決について理解できる
- ・社会逸脱論の論理構成について理解できる
- ・病人役割論とその批判的検討について理解できる
- ・社会構築主義アプローチについて理解できる
- ・犯罪社会学の分析枠組みについて理解できる
- ・社会運動論の分析枠組みについて理解できる
- ・不平等をめぐる諸問題の要因やその解決について理解できる

## III 教育内容

以下のように講義を進める。進度により内容が前後することがある。

1. 紛争理論（1）——階級・階層
2. 紛争理論（2）——官僚制論と組織社会学
3. 紛争理論（3）——階級社会のその後
4. 功利主義・合理的選択理論（1）——フリーライダー問題
5. 功利主義・合理的選択理論（2）——社会的ジレンマ
6. デュルケム理論（1）——社会学の生誕と『自殺論』
7. デュルケム理論（2）——マクロからミクロまで
8. デュルケム理論（3）——秩序問題へのアプローチ
9. デュルケム理論（4）——構造機能主義
10. ミクロ相互作用論（1）——知識社会学の考え方
11. ミクロ相互作用論（2）——シンボリック相互行為論の生成
12. ミクロ相互作用論（3）——逸脱の社会学
13. ミクロ相互作用論（4）——スティグマの社会学

## IV 学習および教育方法

講義形式。適宜、映像資料や配付資料により先行研究ならびに具体的事例を提示する。

## V 評価の方法

期末試験。講義後に課すコメントペーパーの内容が優れている場合は加点する。

## VI 推薦する参考書

講義中に随時紹介する。